

発行所
 ちおご保雄事務所
 〒260-0017 千葉市中央区要町5-6
 TEL043-221-1288/FAX043-221-5422

発行責任者
 鈴木与市

ちおご保雄市議ニュース

花の都・ちは 市民・企業主体の展開へ移行

3月千葉市議会一般質問特集



早くも3度目の一般質問に登壇する ちおご保雄市議

旧国税庁跡地払い下げ要望

要望 市内には、例えばダリア生産農家など世界に誇れる農作物生産農家も多数あります。大切な地場産業を、花の都ちばの

登戸公園一

要望 都市公園は適正に配置されることが望ましいが、中心市街地では公園用地の確保が難しい中で、市民に最も身近な公園といわれている街区公園の配置計画をどのように考えているのか。また、西登戸地区の旧国税局跡地を有効活用する考えはあるのか。

体的整備へ

要望 住民の強い要望だった登戸5丁目の街区公園と自身跡地が一体的に拡張整備されることになったことに対し、当局の適切な対応に感謝申し上げますとともに、今後も同地区の環境保護に対しご理解をお願いしたい。

顔として千葉市パビリオンを設け、企業育成するような事業はごめいでしょうか。千葉市ブランドのアピールを積極的に行わないとなかなか日本や世界の人の目に触れません。今までの市民を巻き込んだ事業から次の展開として、花の生産農家や企業を巻き込んだ事業展開を期待したいと思えます。

「市民の声が生かせる市政へ」を掲げて、昨年春の市議選に千葉市中央区から立候補し、初当選を果たした向後保雄（ちおご・やすお）議員は、昨年6月と12月市議会に続いて、今年3月市議会でも早くも3度目の一般質問に登壇し、市民の声を市政へ届けました。この中で、登戸5丁目の街区公園の拡張整備で、隣接する旧国税庁自身跡地の払い下げを国へ要望させるなど、地域のための活動を積極的に展開しています。ちおご議員の市議会での主な質疑を1、2面で特集します。

ちおご保雄の決意

**徹底した行政改革による財政の建直しと
 わかりやすい財務書類開示による財政の透明性確保**

税金の無駄遣いをなくし、安心・安全な街づくり、日本人の心を取り戻す人間教育と希望に満ちた子育て支援体制の実現、千葉駅西口再開発事業の早期実現、中心市街地の活性化と千葉港湾地区再開発の推進、住んでみたい、住み続けたい県都千葉市づくりを目指します。

ちおご 花のあふれるまちづくりを推進し、花の都ちばを名乗る千葉市として、今後どのように日本や世界にアピールしていくのか。今後の展開、展望はどうか。

都市局長 都市イメージ「花の都・ちは」の確立に向け、市民との協働を主眼に各種事業に取り組んでいますが、市民・企業が「花の都・ちは」を自ら実感でき、さらに誇りを持てるようになってこそ、名実ともに「花の都・ちは」が確立されることから、今後は市民・企業が主体の花のあふれるまちづくりの展開へと、移行していきたいと考えて

公園建設課 市街地における街区公園の配置計画は、街区内に居住する住民が容易に利用できる距離に、標準面積の千平方メートル以上を確保することを目標に整備を進めています。

また、西登戸地区の登戸5丁目公園は、地区住民の憩いの場や災害時の一時的な避難場所としての街区公園としては狭小な面積だったことから、隣接する国有地の旧国税局跡地を有効活用し、同公園と一体的に拡張整備することにより、公園としての機能を十分発揮できるように、現在払い下げの要望をしているところ

ちおご保雄プロフィール

- 生年月日
 - 昭和33年12月10日生まれ
 - 家族 妻、子ども2人
- 略歴
 - 昭和52年3月 市立千葉高校卒業
 - 昭和57年4月 横浜市立大学卒業平成元年12月まで都内の会計事務所
 - 平成2年2月 税理士登録／向後税理士事務所開設
- 平成15年4月 千葉県税理士会千葉支部長
- 平成19年6月 千葉市議会副委員長
- 現職
 - 千葉県税理士会常務理事
 - 千葉市消防団第1分団長
- 趣味・特技
 - 社交ダンス・テニス・ゴルフ・バンド演奏



子供たちに輝く夢と未来を！ 千葉市民のために汗を流します。

千葉市 議会議員 **ちおご保雄** やすお

ちおご保雄事務所
 〒260-0017 千葉市中央区要町5-6 TEL043-221-1288 / FAX043-221-5422

公会計制度改革は基準モデルで

市税徴収差押さえ件数3倍

こおご 公会計制度改革では、千葉市の方針は19年度決算は総務省方式の改定モデルで作成し、20年度決算は基準モデルに移行すると聞いています。資産評価の仕方の違いもあるので、

市民に分かりやすく混乱のないよう説明すべきと考えますが、どうか。

財政局長 総務省方式改定モデルと基準モデルの違いについては、市民の方々に理解いただけるよう、分かりやすい資料を作成するとともに、その内容を説明してま

中央区特集

3月千葉市議会一般質問

市民の声を生かします

要望 財務改革は、何より具体的でなければならず、どの資産を整理し、どのコストを削減するか、

ということを具体的に規定するには基準モデルでなければならず、決算統計を組み替えるだけの改定モデルでは、公会計のための公会

計にしかならず、本来の目的を無視したその場しのぎの方式だと考えます。従って、総務省方式改定モデルで処理した後に、基



市議会自席で再質問するこおご保雄市議

ネット公売で二千万円

こおご 市税の徴収率向上と滞納の解消は、ますます重要性が増しているが、徴収強化策としての資産の差し押さえによって、昨年と比べてどのくらい実績が上がったのか。

財政局長 本年度から、家宅捜索による自動車へのタイヤロックや美術品・金のインゴットなどの資産の差し押さえのほか、生命保険給与等の債権、さらには不動産など積極的な差し押さえを実施した結果、本年1月末現在の差し押さえ件数

は六百十六件、滞納税額で約十億円となつています。昨年同期と比較すると、件数で約三倍、税額では約二倍の実績となっております。また、差し押さえ物件は、インターネットによる公売を実施した結果、約九百九十万円の収入となりました。

準モデルに移行することは二度手間であり、税金のムダ遣いといえます。総務省の態度もあいまいで、どちらでもよいという点に問題があります。一刻も早く自治法を改正していただき、統一された公会計基準に基づいて、地方公共

団体が財務4表の作成をしなければ、比較可能性も乏しく、市民にとっては誤解を招きやすく、しっかりと説明責任を果たしたことになりません。ぜひとも当初から、基準モデルで作成するように検討いただくことを強く要望します。



消防の使命達成へ迅速な体制確立を

消防職員四割が市外居住

こおご 消防職員は、その任務の本質を十分認識し、市民生活の安全を確保するその職責を自覚して、いついかなる状況においても、一朝有事に際しては直ちに集合し、早期活動体制を整

える必要があるが、職員の居住地状況はどうなっているのか。また、大規模災害時の対応はどうか。迅速な参集体制はどう確保するのか。

消防局長 職員の居住地についてですが、職員は大規模災害時などではいち早く勤務場所に参加し、災害対応する必要から、市内居住を原則としています。しかしながら、家族の状況や住居問題などの理由により、

市内に居住することができない職員に対し、市内居住を義務付けることは、居住の自由に抵触することにもなり、強制はできないものと考えています。また、市内に甚大な被害が発生した場合は、市内居住職員も被災者になることから、このリスク分散する必要もあります。このことから、非常招集等に速やかに参加できること等を条件に、市外居住を承認しており、昨年4月現在で職員九百四十二人のうち約四割の三百九十五人の職員が承認を得て市外に居住しています。大規模災害時の対応ですが、災害が発生し、または災害の発生が予想され、緊急に消防力の増強が必要な場合、消防職員服務規程に基づき非常等の職員も自ら参加するほかに、事前計画に基づく非常招集により、活動人員を増員して災害に対応します。また、昨年実施した自動車や公共交通機関を使わない非常招集訓練では、職員の参集状況は、一時間後には42%、二時間後には88%、三時間後には99%の職員が参集しています。今後も職員の方々のさらなる意識の向上を図り、迅速な参集体制の確立に努めてまいります。

要望 市内居住の原則の趣旨を理解してもらい、消防の使命達成のため、さらなる迅速な体制確立してもらいたい。

こおご保雄市議